

記入要領

赤字部分：提出前に記入 (実際の提出書類は黒字で記入してください)
 青字部分：実験終了後に記入

様式 12

放射線発生装置使用記録

放射線管理部長 殿

共同利用ではない場合は「所内利用」と記入

*実験番号	LA-	*受付番号		共同利用採択番号	2299	所内連絡者	高橋
使用装置名	<input checked="" type="checkbox"/> 電子 LINAC、 <input type="checkbox"/> コッククロフト型パルス状中性子発生装置、 <input type="checkbox"/> 陽子ベータトロン (FFAG 注入器/シンクロトロン (FFAG ブースターリング)、 <input type="checkbox"/> 陽子シンクロトロン (FFAG 主)、 <input type="checkbox"/> その他の加速器 ()			使用する部屋と使用装置を記入			
使用条件等	実験室において Ge 半導体検出器、液体窒素、窒素ガスポンペ、電熱器具を使用			連続運転	有 <input checked="" type="checkbox"/>		
取扱者	代表者氏名・所属職名・TEL: 京都次郎、京大・工、教授、0120-123- その他の取扱者氏名(全名)：小田原太郎 (産総研)、熊取花子 (東北大)			寒剤、電熱器具、大電力機器も記入			
実験名称(含目的)	電子ライナックからの短パルス電子線を用いた量子ビーム多目的利用に関する研究			照射試料			
実験内容説明 高エネルギー電子ビームを Ta ターゲットに照射し、発生する中性子をアルミ 2 重管に封入した石英ガラスに約 8 時間照射する。照射中の試料温度は電気ヒータにより 100°C に保つ。照射後の試料は液体窒素で冷却した Ge 半導体検出器で測定を行う。	名称	石英ガラス、金箔			照射実験の場合に記入		
	形状	固体、密封粉末、密封液状、その他()					
	化学式	SiO ₂ , Au					
	数量	SiO ₂ : 1.5g, Au: 0.1g					
	封入方法及び略図						
安全に関する説明	照射試料は 2 重に封入、寒剤の使用に際しては酸素濃度計を使用、電熱器具は漏電			使用期間中一人当りの最大線量			
同種実験経験	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (実験番号 LA-08234 号)			予想最大被ばく線量	10 (μSv)		
RI 使用:	<input checked="" type="checkbox"/> 有(核種)			高線量作業:	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
核燃使用:	<input checked="" type="checkbox"/> 有(核燃番号)			*RI 届受付番号			
				*核燃届受付番号			
使用期間(計画) 2010 年 4 月 20 日 ~ 2010 年 4 月 24 日 (1 週間を最長とする)							
実施計画	ターゲット種類	Ta	パルス繰返し	46 pps	パルス幅	47 ns	
	平均電流	3 μA	エネルギー	30 MeV	ビーム出力	0.12 kW	
*実施日時	*運転者		*実施内容				
4 月 20 日 13:26-21:11	高橋		エネルギー	40 MeV	平均電流	3.1 μA	ターゲット種類 Ta
4 月 21 日 8:34-22:07	高橋		エネルギー	40 MeV	平均電流	3.1 μA	ターゲット種類 Ta
4 月 22 日 13:16 ~ 4 月 24 日 21:15	高橋		エネルギー	40 MeV	平均電流	3.1 μA	ターゲット種類 Ta
			エネルギー	MeV	平均電流	μA	ターゲット種類
			エネルギー	MeV	平均電流	μA	ターゲット種類
			エネルギー	MeV	平均電流	μA	ターゲット種類
			エネルギー	MeV	平均電流	μA	ターゲット種類
承認	*放射線管理部長 印		確認	*放射線取扱主任者 印		施設管理者 印	使用責任者 印
*注意事項(作業における条件等)							
備考 (1)* 欄以外の太枠内は申込者にて記入し、施設管理者及び使用責任者の押印を受けてから下記窓口に提出する。実施計画及び実施内容に記載する事項は装置毎に放射線障害予防規程実施細則を参照する。(2)照射の場合には、誘導放射能計算書、核燃使用の場合には核燃料物質記録(使用)、放射性同位元素の使用等の場合は放射性同位元素取扱届を添付する。(3)本様式で記載が不十分な場合は別紙を添付する。(4)本様式は承認後返却するので、使用後速やかに実施欄を記入し使用責任者に再提出する。							
提出期限及び提出先	所員:原則として 1 週間前までに放射線管理部窓口へ			共同利用者:原則として 2 週間前までに共同利用掛へ			

実験上の安全対策を具体的に記入

一日毎に記入

連続運転の場合は一行で OK。但し途中でビーム条件を変えた場合は行を改め別枠に記入。

ビーム出力 = エネルギー × 平均電流

空間線量率 20 μSv/h 以上又は予想被ばく 1mSv/週以上の場合は「有」とし、「高線量作業承認願」を別途提出する